

# 平成20年2月の結果 (二人以上の世帯)

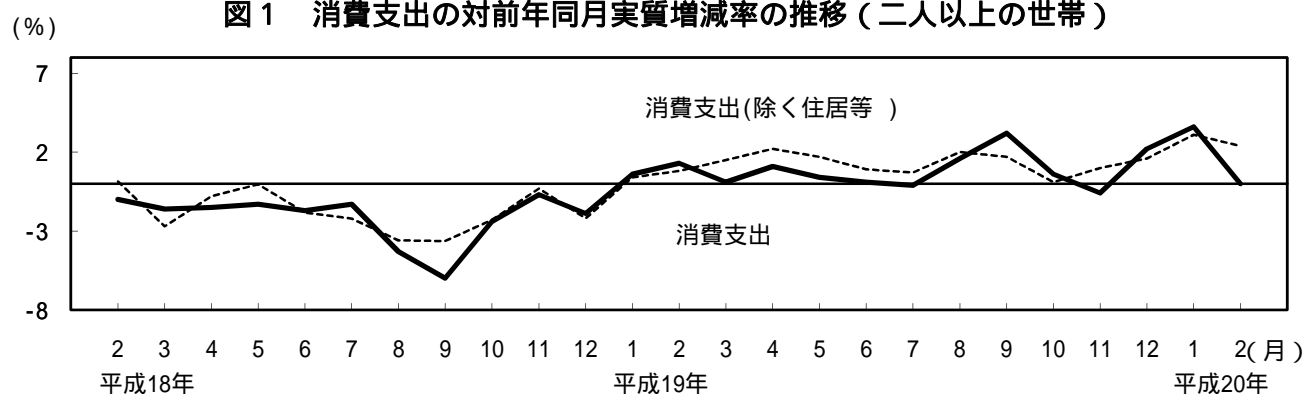
## 二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 275,827 円  
 前年同月比 実質 0.0% 前月比(季節調整値) 実質 2.9%の減少  
 消費支出(除く住居等)は、  
 前年同月比 実質 2.4%の増加 前月比(季節調整値) 実質 0.4%の減少  
 うち勤労者世帯の実収入は、  
 前年同月比 実質 0.1%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

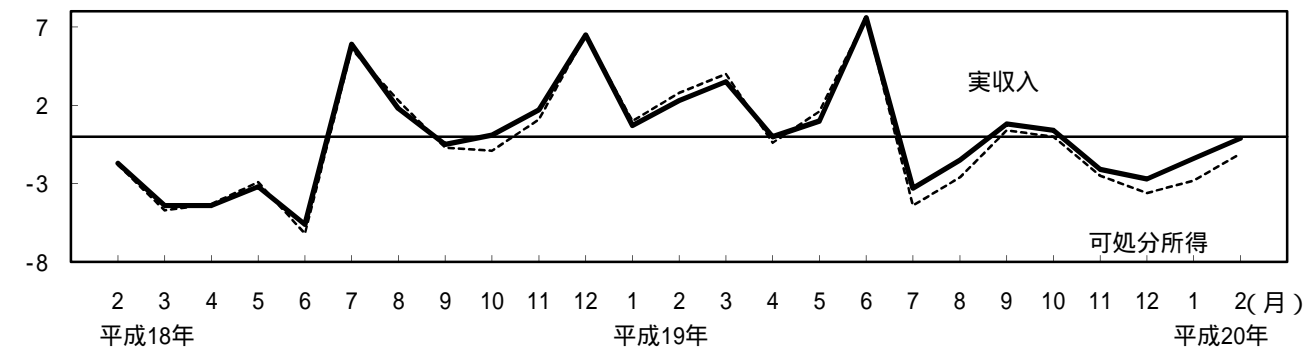
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成19年												平成20年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
消費支出	1.3	0.1	1.1	0.4	0.1	-0.1	1.6	3.2	0.6	-0.6	2.2	3.6	0.0	
消費支出(除く住居等)	0.8	1.5	2.2	1.7	0.9	0.7	2.0	1.7	0.1	1.0	1.6	3.1	2.4	

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成19年												平成20年	
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
実収入	2.3	3.5	0.0	1.0	7.6	-3.3	-1.5	0.8	0.4	-2.1	-2.7	-1.4	-0.1	
可処分所得	2.8	4.0	-0.4	1.6	7.6	-4.4	-2.6	0.4	0.0	-2.5	-3.6	-2.8	-1.1	
消費支出	-2.7	-0.3	0.4	0.9	-0.4	0.5	3.6	5.5	2.2	-1.5	1.8	3.0	1.4	
平均消費性向	-4.1	-3.9	0.7	-0.7	-4.0	3.1	5.0	4.1	1.8	0.8	2.5	5.1	1.8	

\*：対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成20年2月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	275,827	1.1	0.0	0.0		
食 料	63,981	3.4	2.2	0.49	<増 加> 肉類,果物など	5 か月ぶりの実質増加
住 居	14,191	-8.3	-8.3	-0.47	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	3 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	30,165	14.1	9.7	0.94	<増 加> 電気代,他の光熱など	2 か月連続の実質増加
家具・家事用品	8,285	13.1	14.6	0.39	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2 か月ぶりの実質増加
被服及び履物	10,215	-2.1	-2.7	-0.10	<減 少> 洋服,和服など	6 か月連続の実質減少
保健医療	13,294	8.2	8.1	0.36	<増 加> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2 か月連続の実質増加
交通・通信	33,884	-2.6	-5.4	-0.70	<減 少> 自動車等関係費,交通	3 か月ぶりの実質減少
教 育	12,274	-1.1	-1.8	-0.08	<減 少> 授業料等	2 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	28,106	0.2	1.0	0.10	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品など	4 か月連続の実質増加
その他の消費支出	61,432	-3.5	(-4.5)	(-1.06)	<減 少> 交際費,諸雑費など	10か月ぶりの減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

##### 中 分 類

##### 品 目

##### < 増加項目 >

##### 実質寄与度

電気代	[0.41]		
教養娯楽用耐久財	[0.41]	.....	テレビ, パーソナルコンピュータ
保健医療サービス	[0.29]	.....	歯科診療代, 医科診療代
家庭用耐久財	[0.26]	.....	エアコンディショナ, 電気洗濯機
他の光熱	[0.25]	.....	灯油
通信	[0.19]	.....	移動電話通信料

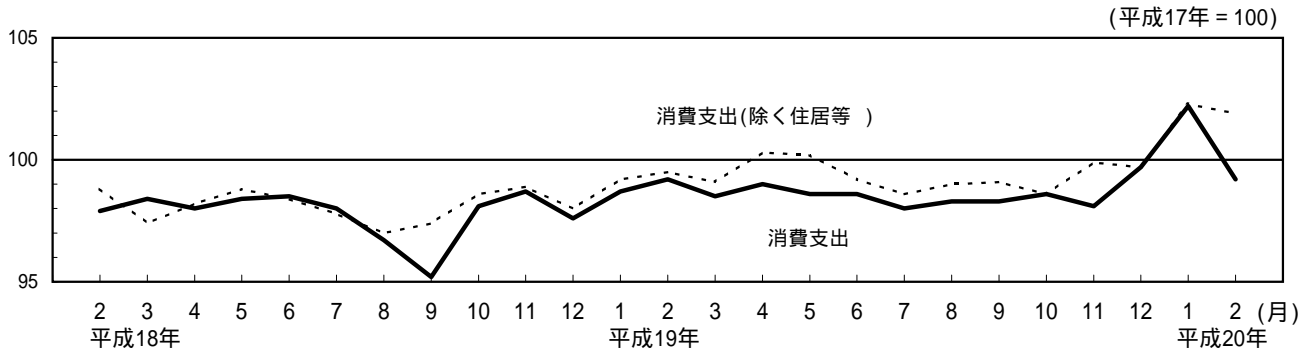
##### < 減少項目 >

交際費	[-0.90]	.....	贈与金
自動車等関係費	[-0.82]	.....	自動車購入
諸雑費	[-0.68]	.....	葬儀関係費, 祭具・墓石, 婚礼関係費
教養娯楽サービス	[-0.30]	.....	外国パック旅行費
設備修繕・維持	[-0.28]	.....	設備器具
家賃地代	[-0.19]	.....	公営家賃, 民営家賃

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成19年												平成20年	
	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	
消 費 支 出	99.2	98.5	99.0	98.6	98.6	98.0	98.3	98.3	98.6	98.1	99.7	102.2	99.2	
対 前 月 変 化 率 ( % )	0.5	-0.7	0.5	-0.4	0.0	-0.6	0.3	0.0	0.3	-0.5	1.6	2.5	-2.9	
消費支出(除く住居等 )	99.5	99.1	100.3	100.2	99.2	98.6	99.0	99.1	98.6	99.9	99.7	102.3	101.9	
対 前 月 変 化 率 ( % )	0.3	-0.4	1.2	-0.1	-1.0	-0.6	0.4	0.1	-0.5	1.3	-0.2	2.6	-0.4	

注 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ～3 )を用いた。

## 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成20年2月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	476,282	1.0	-0.1	-0.1	4か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	368,954	1.0	-0.1	-0.04	5か月連続の実質減少
定 期 収 入	364,503	1.3	0.2	0.15	5か月ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	45,502	-7.6	-8.6	-0.90	3か月連続の実質減少
う ち 女 性	44,982	-7.0	-8.0	-0.82	3か月連続の実質減少
他の世帯員収入	10,182	24.5	23.1	0.40	8か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	73,379	6.7	-	-	9か月連続の増加
可 処 分 所 得	402,903	0.0	-1.1	-	4か月連続の実質減少
消 費 支 出	298,539	2.5	1.4	-	3か月連続の実質増加
平均消費性向(%)	74.1	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、72.8%で、前月に比べ、4.8ポイントの低下となった。
		72.3	1.8		